

2018年通期 アルバイト・パート募集時平均時給調査レポート

本レポートは、株式会社リクルートジョブズ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：葛原孝司）の調査研究機関「ジョブズリサーチセンター（<http://jbrc.recruitjobs.co.jp/>）」が月次で発表している「アルバイト・パート募集時平均時給調査」について、2018年4月～2019年3月の結果をまとめたものです。

「アルバイト・パート募集時平均時給調査」では、当社が企画運営する求人メディア『TOWNWORK』『TOWNWORK社員』『fromA navi』に掲載された求人情報より、アルバイト・パートの募集時平均時給を集計しています。毎月の調査結果は、下記のリンク先よりご確認ください。地域別（首都圏・東海・関西）、職種別の平均時給データを掲載しています。

今回のレポートでは、職種区分ごとに募集時平均時給の動向を確認するとともに、その分野で話題になったできごとを、メディア記事や事例を交えて振り返ります。また、トピックスとして2011年からの長期的な推移について掲載しました。

目次

三大都市圏 募集時平均時給の推移	(1) 職種計	2
	(2) 販売・サービス系	3
	(3) フード系	4
	(4) 製造・物流・清掃系	5
	(5) 事務系	6
	(6) 営業系	7
	(7) 専門職系	8
トピックス：長期的な募集時平均時給の推移		9
調査概要		10

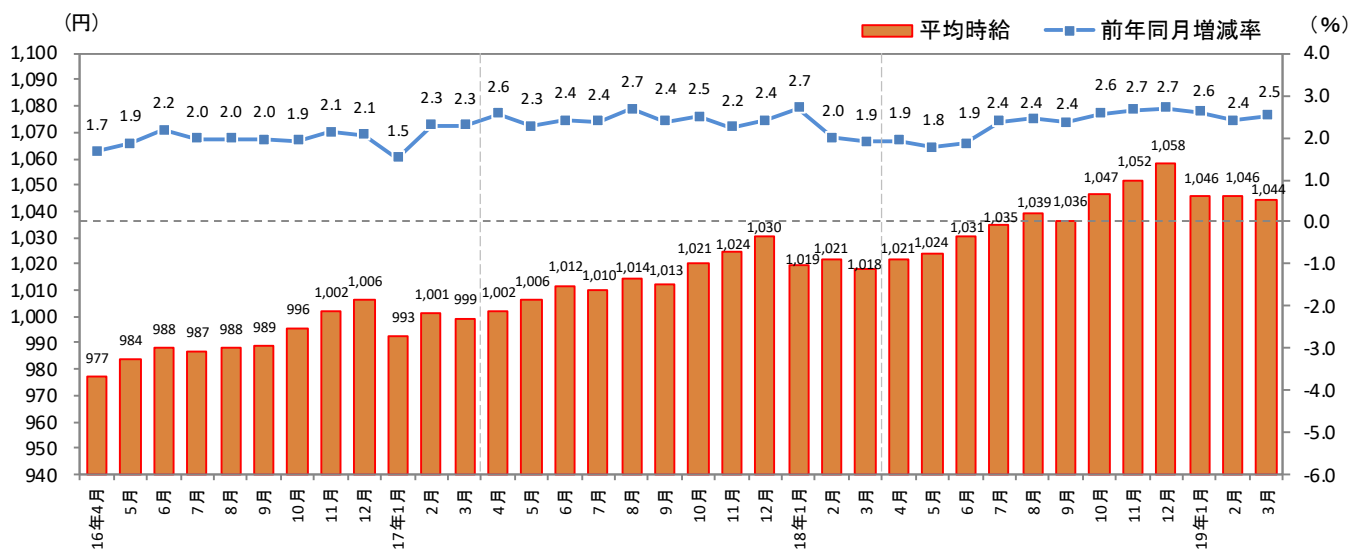
■ 過去の調査結果



ジョブズリサーチセンターWEBサイト> 最新市場データ
> 平均賃金レポート（アルバイト・パート）
<http://jbrc.recruitjobs.co.jp/data/ap/>

ジョブズリサーチセンターWEBサイト> 最新市場データ
> オープンデータ（CSV形式/JSON形式で過去のデータがダウンロードできます。）
<http://jbrc.recruitjobs.co.jp/data/opendata/>

三大都市圏 募集時平均時給の推移 (1) 職種計



人材不足を背景に11・12月は前年同月増減率+2.7%

上のグラフは、三大都市圏（首都圏・東海・関西）、職種計の募集時平均時給とその前年同月増減率の、過去3年間の推移を示しています。また、下の表には職種大分類別の数値（2018年12月分）を示しました。

2018年4月～2019年3月の募集時平均時給は、**1,021～1,058円**の間で推移しました。例年と同じく、4～9月は微増傾向で、10～12月に増加し、12月が最も高くなっています。これは、特に販売・サービス系、製造・物流・清掃系の動きを反映していると考えられます。

前年同月増減率を見ると、11月と12月には+2.7%となり、前年に続いて高い水準で推移していると言えるでしょう。

長引く人材不足は、幅広い職種での募集時の時給上昇や、主婦やシニアの採用拡大といった採用活動の変化にとどまらず、サービス内容の変更などにもつながってきています。

<職種別 募集時平均時給（2018年12月）>

大分類	2018年12月 平均時給 (円)	前年同月 増減率
販売・サービス系	1,043	3.1%
フード系	1,009	2.2%
製造・物流・清掃系	1,055	3.3%
事務系	1,093	4.4%
営業系	1,277	5.9%
専門職系	1,165	1.6%
【職種計】	1,058	2.7%

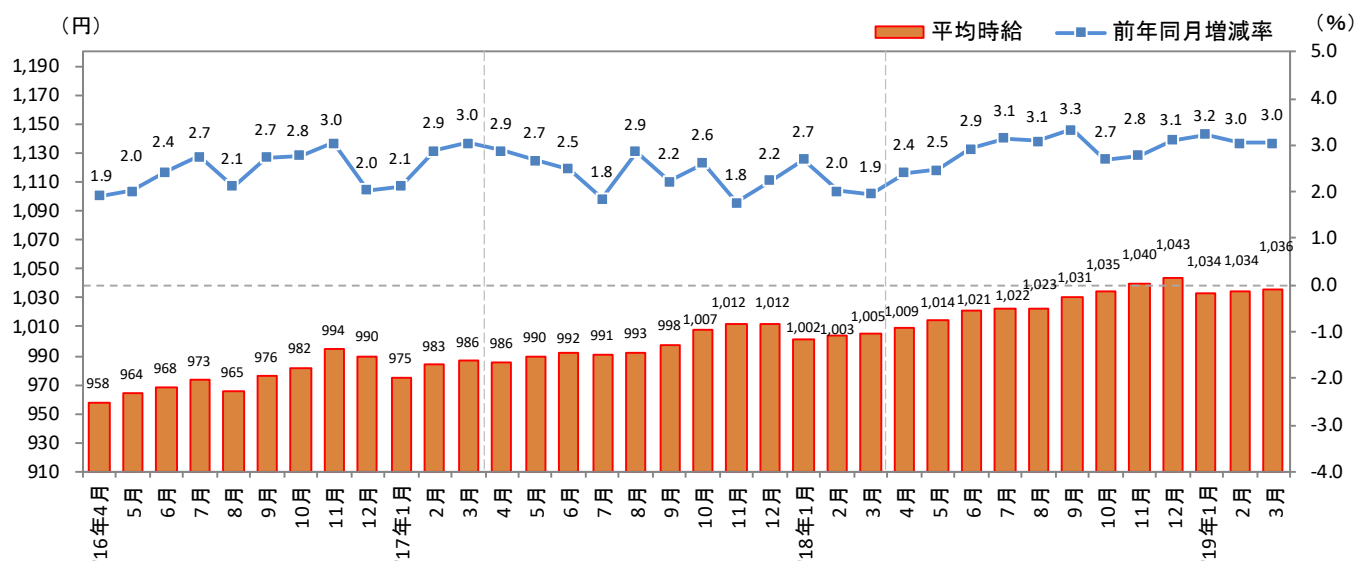
アルバイト・パート募集時平均時給調査 メディア掲載

「小売り・外食 脱24時間 外食 セルフ化
物流 値上げ」

(2019年3月23日 産経新聞)

・・・24時間営業の見直し、接客の工夫、値上げなど、人材不足を背景としたサービス産業の変化についての記事で、当調査のデータが引用されました。

三大都市圏 募集時平均時給の推移 (2) 販売・サービス系



前年同月増減率+3%以上が続く コンビニスタッフの不足が話題に

ここからは、職種別に三大都市圏（首都圏・東海・関西）の募集時平均時給の推移を見ていきます。

「販売・サービス系」には、レジ、販売、コンビニスタッフ、ホールスタッフ（パチンコ・遊技場）、レジャー施設業務全般、ホテルスタッフなどが含まれています。（下表参照）

2018年4月～2019年3月の販売・サービス系の募集時平均時給は、上のグラフのように、**1,009～1,043円**の間で推移しました。比較的時給の高い年末の短期求人が増えることなどから、例年12月頃がピークとなっています。

前年同月からの増減率は、最も高かった9月で+3.3%となるなど、前年までや他の職種と比べて高い水準となっています。人材不足を背景に、募集時の平均時給が上がっていると考えられます。

中でもコンビニエンスストアでのスタッフの不足は、24時間営業に疑問が投げかけられるまでになるなど、話題となりました。

<販売・サービス系 募集時平均時給（2018年12月）>

大分類	小分類	2018年12月 平均時給 (円)	前年同月 増減率
販売・サービス系	レジ	990	2.7%
	販売	1,024	2.9%
	アパレル販売	1,056	5.0%
	化粧品販売	1,033	4.4%
	コンビニスタッフ	974	2.7%
	カラオケボックススタッフ	1,051	4.1%
	CD・ビデオレンタルスタッフ	909	1.7%
	ホールスタッフ(パチンコ・遊技場)	1,229	0.3%
	レジャー施設業務全般	1,087	5.5%
	ホテルフロント	1,118	6.0%
	ホテルスタッフ	1,033	2.7%
	宿泊施設関連(旅館・民宿)	1,032	2.1%
	冠婚葬祭スタッフ	1,055	2.1%
	イベントスタッフ(設営・運営等)	1,209	8.0%
	チラシ・パンフレット配布	1,134	4.5%
キャンペーンスタッフ	1,211	1.4%	
販売・サービス系 全体		1,043	3.1%

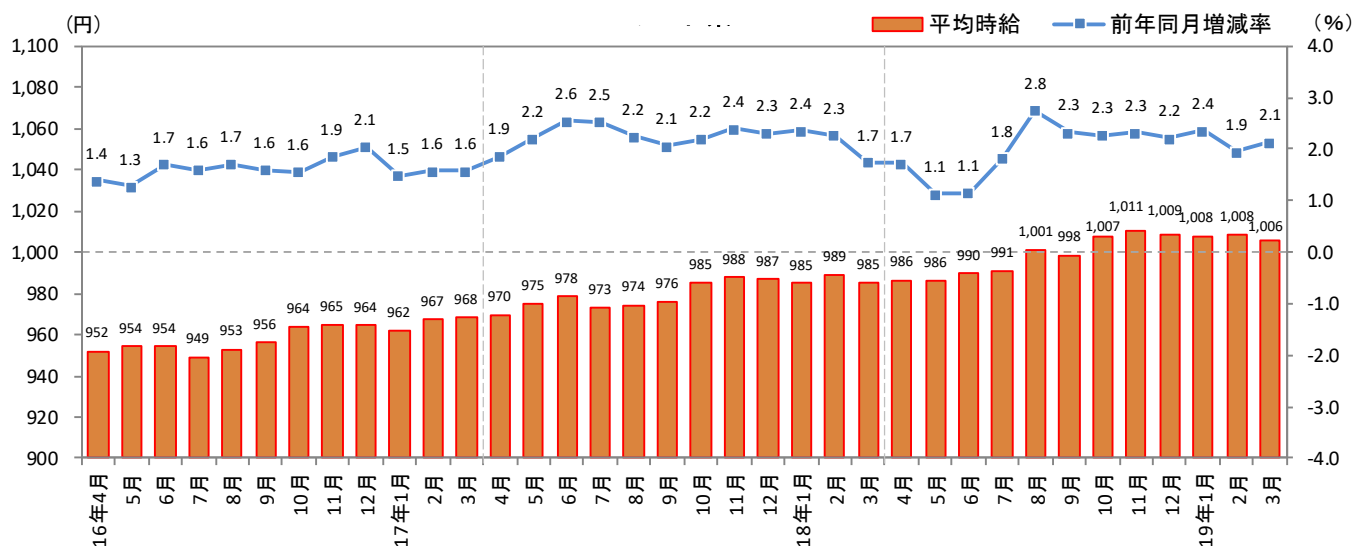
販売・サービス系関連 メディア掲載

「【いちからわかる！】コンビニの24時間営業
なぜ今問題なの？」

(2019年4月25日 朝日新聞)

・・・コンビニエンスストアの24時間営業が問題となっている背景を紹介する記事で、当調査のデータが引用されました。

三大都市圏 募集時平均時給の推移 (3) フード系



前年同月増減率は堅調 スポットバイトが話題に

「フード系」には、ホールスタッフ（飲食店）、調理・コック・板前（見習含む）などが含まれています。（下表参照）

2018年4月～2019年3月のフード系の募集時平均時給は、上のグラフのように、**986～1,011円**の間で推移しました。毎年10月頃に行われる最低賃金の改定の影響もあって、例年10月以降は募集時平均賃金が高くなる傾向があります。

前年同月からの増減率は2018年後半から+2%前後が続いており、最も高かった8月で+2.8%でした。

フード系の仕事も人材不足が続いており、業務の効率化や、「スポットバイト」と言われる数時間だけのアルバイトをマッチングするスマートフォンのアプリが話題になりました。（リクルートジョブズ「Job Quicker」など）

<フード系 募集時平均時給（2018年12月）>

大分類	小分類	2018年12月 平均時給 (円)	前年同月 増減率
フード系	ホールスタッフ（飲食店）	1,016	1.8%
	料理店・レストラン・他	1,013	1.6%
	居酒屋・バー	1,042	3.1%
	調理・コック・板前（見習含む）	1,003	2.5%
	料理店・レストラン・他	999	2.4%
	居酒屋・バー	1,043	4.5%
	ファストフード	986	0.9%
	パン職人・パティシエ	1,010	4.4%
	洗い場・パントリー	999	2.7%
	フード系 全体	1,009	2.2%

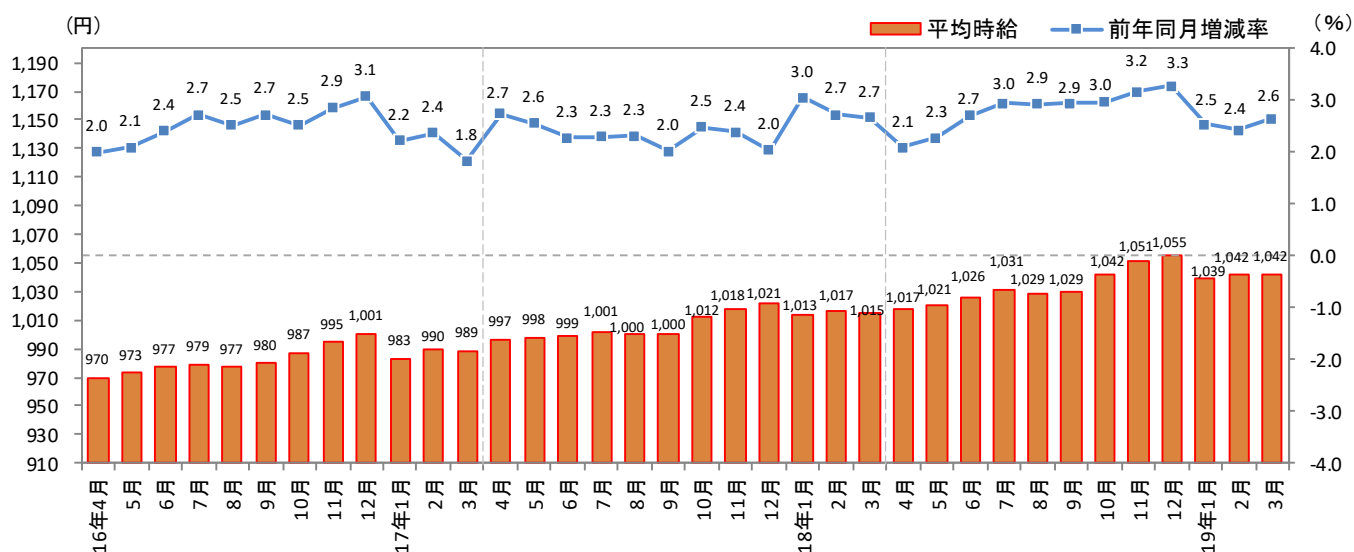
フード系関連 メディア掲載

「バイト時給1000円超え、小売り・外食に重
庄、レジや配膳、効率化急ぐ」

（2018年11月16日 日本経済新聞）

・・・アルバイト・パートの時給上昇についての記
事で、当調査のデータが引用されました。

三大都市圏 募集時平均時給の推移 (4) 製造・物流・清掃系



資格・専門スキルが必要な仕事を中心に上昇

「製造・物流・清掃系」には、食品製造・販売、物流作業、清掃・洗浄・クリーニングなどの仕事が含まれています。(下表参照)

2018年4月～2019年3月の製造・物流・清掃系の募集時平均時給は、上のグラフのように、**1,017～1,055円**の間で推移しました。比較的時給の高い年末の短期求人が増えることなどから、例年12月がピークとなっています。

前年同月からの増減率は、最も高かった12月で+3.3%となるなど、前年までや他の職種と比べて高い水準となっています。特に、構内作業（フォークリフト等オペレータ）やメカニック（修理・整備士）といった職種は、資格や専門スキルが必要なため前年同月増減率が高いと考えられます。

また、住宅地から遠い物流倉庫で採用が難しいため交通費を支給したり、時給を上げたりしたという例も聞かれました。

<製造・物流・清掃系 募集時平均時給 (2018年12月)>

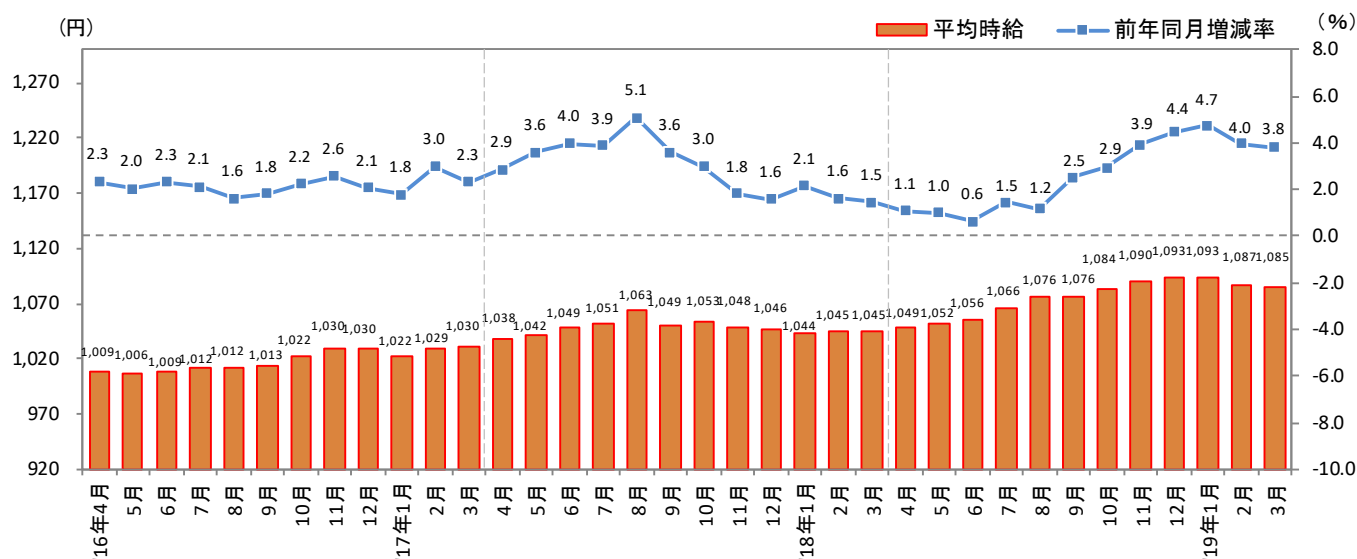
大分類	小分類	2018年12月 平均時給 (円)	前年同月 増減率
製造・ 物流・ 清掃系	食品製造・販売	1,006	3.4%
	組立工	1,022	0.9%
	製造・生産(重工業除く)	1,029	2.6%
	メカニック(修理・整備士)	1,102	5.6%
	品質管理・検査	1,031	2.7%
	物流作業	1,062	3.9%
	構内作業(フォークリフト等オペレータ)	1,212	4.4%
	ドライバー・配送・デリバリー	1,070	1.1%
	ドライバー(中型・大型・バス・タクシー)	1,121	2.0%
	清掃・洗浄・クリーニング	1,039	3.0%
	警備員・監視員・パーキングスタッフ	1,072	2.0%
	ビルメンテナンス・施設管理	1,095	4.1%
	ガソリンスタンドスタッフ	1,008	2.9%
	製造・物流・清掃系 全体	1,055	3.3%

製造・物流・清掃系関連 メディア掲載

『『ZOZO』アルバイト2000人採用へ 時給1300円 ボーナスマ』
(2019年5月13日 NHK NEWS WEB)

・・・人材確保に向けた取り組みについての記事で、当調査のデータが引用されました。

三大都市圏 募集時平均時給の推移 (5) 事務系



2018年後半から前年同月増減率+4%前後に

「事務系」には、一般事務、受付などが含まれています。(下表参照)

2018年4月～2019年3月の事務系の募集時平均時給は、上のグラフのように、**1,049～1,093**円の間で推移しました。月による変動は、例年と同じく比較的緩やかだと言えるでしょう。

前年同月からの増減率は、最も高かった1月で+4.7%となるなど、2018年の後半から、それまでや他の職種と比べて高い水準となっています。中でもコールセンタースタッフやデータ入力、一般事務の増加率が高くなっています。2017年後半の伸びが小さめだった分、この時期の伸びが大きくなっている可能性があります。

<事務系 募集時平均時給 (2018年12月) >

大分類	小分類	2018年12月 平均時給 (円)	前年同月 増減率
事務系	受付	1,056	3.6%
	一般事務	1,083	5.6%
	営業事務・営業アシスタント	1,075	1.0%
	電話対応	1,092	1.8%
	コールセンタースタッフ	1,291	6.6%
	データ入力	1,150	6.4%
	医療事務	1,036	4.0%
	財務・会計・経理系職	1,056	1.3%
	事務系 全体	1,093	4.4%

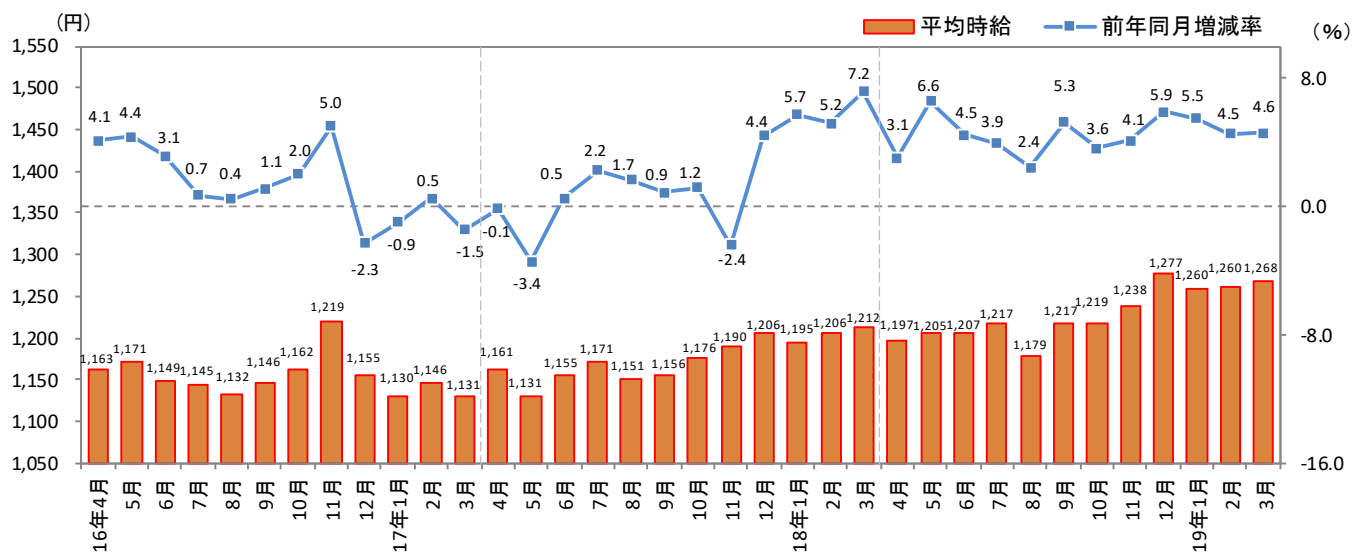
事務系関連
人材活用事例

「社員の力を活かすために重要なこと～現場の声とテクノロジーの活用～」(株式会社サイバーエージェント)

<http://jbrc.recruitjobs.co.jp/case/case000877.html>

・・・採用や育成・定着、マネジメントをテーマに、優れた取り組み事例をジョブズリサーチセンターのWEBサイトで紹介しています。

三大都市圏 募集時平均時給の推移 (6) 営業系



高時給・高増減率で推移

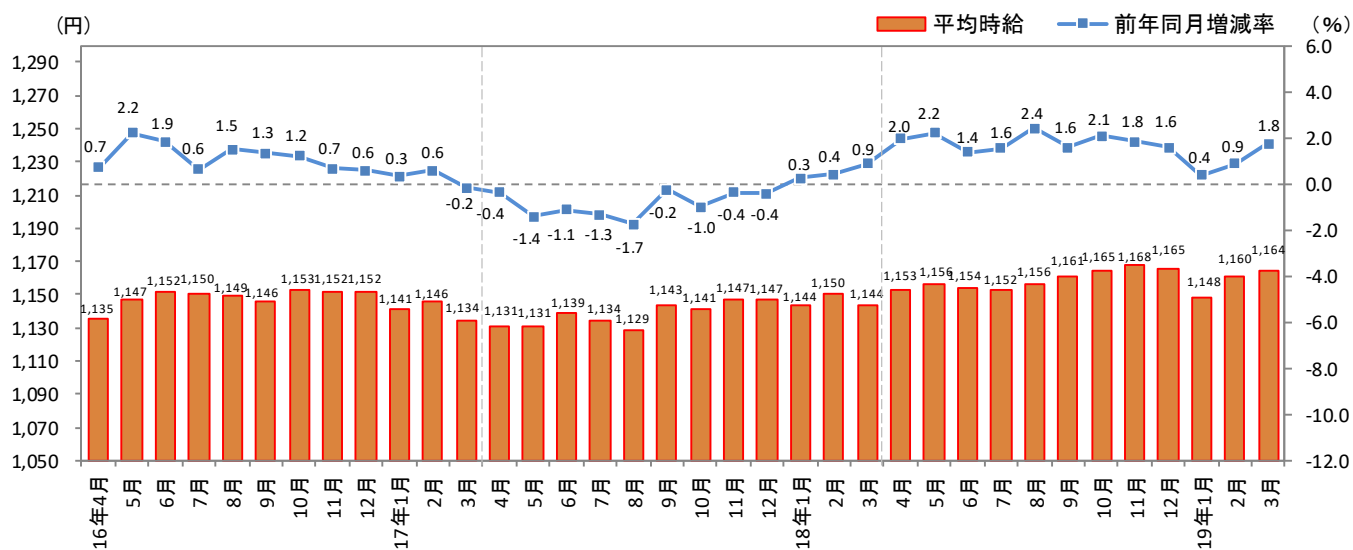
「営業系」には、営業とテレホンアポインターが含まれています。(下表参照)

2018年4月～2019年3月の営業系の募集時平均時給は、上のグラフのように、**1,179～1,277円**の間で推移しました。他の職種区分と比べると、平均賃金は高い水準であり、前年同月からの増減率も、他の職種と比べて高い水準となっています。ただし、アルバイト・パートでの募集件数はあまり多くないため、月ごとの変動が大きい結果となっています。

<営業系 募集時平均時給 (2018年12月)>

大分類	小分類	2018年12月 平均時給 (円)	前年同月 増減率
営業系	営業	1,273	5.8%
	テレホンアポインター	1,287	5.5%
	営業系 全体	1,277	5.9%

三大都市圏 募集時平均時給の推移 (7) 専門職系



平均時給は高水準 増減率は職種によって差あり

「専門職系」には、歯科助手、介護スタッフ、訪問介護員（ホームヘルパー）、保育士などが含まれています。（下表参照）

2018年4月～2019年3月の専門職系の募集時平均時給は、上のグラフのように、**1,148～1,168円**の間で推移しました。他の職種区分と比べて、募集時平均時給は高くなっています。前年同月からの増減率は、最も高かった8月で+2.4%など、前年までや他の職種と比べて高い水準ではありませんが、2018年12月のエステ・ネイル・マッサージでは+5.1%となるなど、小分類による違いが見られます。

介護業については、入管法の改正によって2019年4月に新設された在留資格「特定技能」の対象14業種に含まれており、政府は今後5年間で最大6万人の外国人労働者の受け入れを見込んでいます。

<専門職系 募集時平均時給（2018年12月）>

大分類	小分類	2018年12月 平均時給 (円)	前年同月 増減率
専門職系	看護師	1,669	0.0%
	歯科衛生士・歯科技工士	1,444	3.3%
	歯科助手	1,029	3.1%
	医療関係技術者	1,172	2.3%
	介護スタッフ	1,077	2.7%
	訪問介護員(ホームヘルパー)	1,185	1.7%
	介護福祉士	1,147	0.3%
	美容師・理容師	1,032	-0.3%
	エステ・ネイル・マッサージ	1,107	5.1%
	スポーツインストラクター	1,014	0.7%
	塾講師	1,271	-7.3%
	保育士	1,094	2.6%
	専門職系 全体	1,165	1.6%

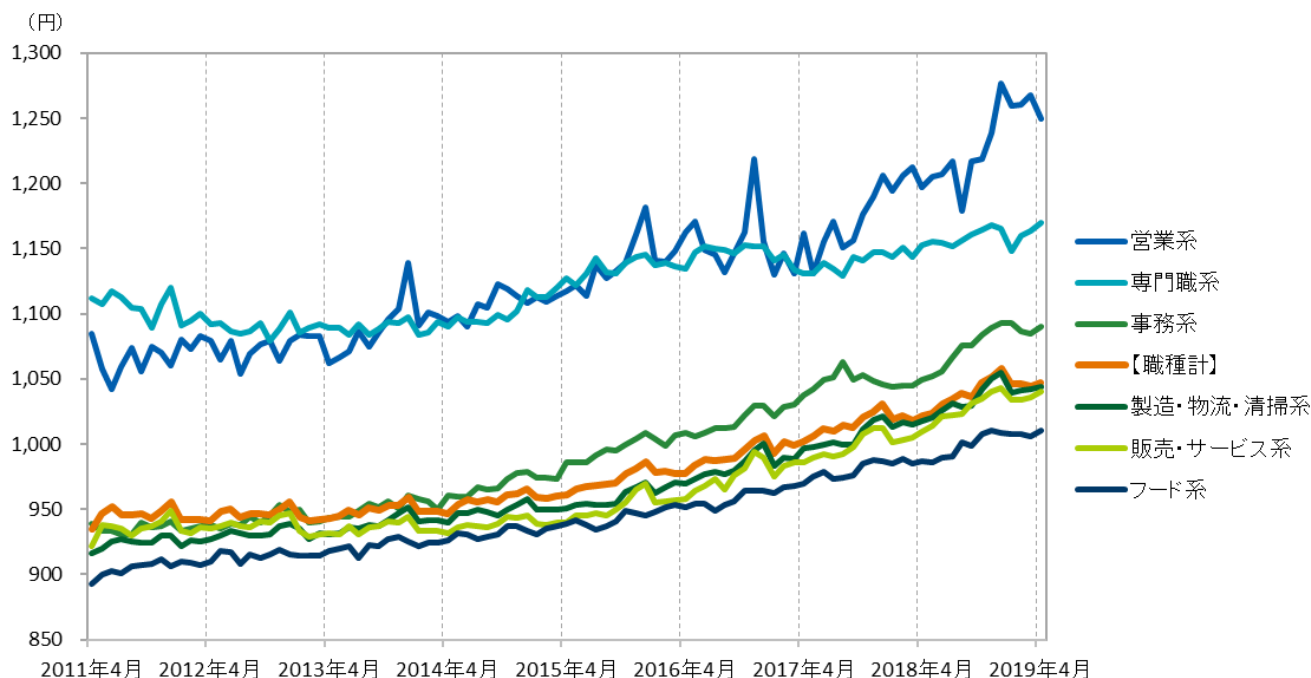
専門職系関連 人材活用事例

「主婦などの家事経験を有効活用しニーズに合ったサービスを提供」(株式会社やさしい手)

<http://jbrc.recruitjobs.co.jp/case/case000227.html>

・・・採用や育成・定着、マネジメントをテーマに、優れた取り組み事例をジョブズリサーチセンターのWEBサイトで紹介しています。

トピックス：長期的な募集時平均時給の推移



平均時給は8年間で112円増（+12.0%） 事務系は151円増（+16.1%）

ここまでのグラフでは過去3年間の動きを示しましたが、さらに長期的な推移はどのようになっているのでしょうか。上のグラフは、2011年4月～2019年4月の8年間の三大都市圏における募集時平均時給の推移を職種別に示したものです。また、下の表には2011年4月と2019年4月の募集時平均時給を示しました。

まず、職種計の変化を見ると、平均時給は8年間で112円、割合にして12.0%増加しました。特に、2015年頃から伸びが大きくなってきています。（※ただし、エリアや職種の構成比を考慮していない点には注意が必要です。）

職種別の変化を見ると、最も増減率が高かったのは事務系で、製造・物流・清掃系や販売・サービス系との差が広がりました。製造・物流・清掃系と販売・サービス系は近い動きをしています。フード系の増減率は+13.1%でした。専門職系は、募集時平均時給は比較的高いものの、増減率は+5.2%にとどまりました。営業系は月ごとの変動が大きくなっていますが、事務系に次いで増減率が高くなっています。

＜職種別 募集時平均時給（2011年4月・2019年4月）＞

大分類	2011年4月 平均時給 (円)	2019年4月 平均時給 (円)	増減額 (円)	増減率
販売・サービス系	922	1,040	118	12.8%
フード系	893	1,010	117	13.1%
製造・物流・清掃系	916	1,044	128	14.0%
事務系	939	1,090	151	16.1%
営業系	1,085	1,250	165	15.2%
専門職系	1,112	1,170	58	5.2%
【職種計】	935	1,047	112	12.0%

調査概要

■ 集計対象

株式会社リクルートジョブズが企画運営する求人メディア『TOWNWORK』『TOWNWORK社員』『fromA navi』に掲載された求人情報より、「アルバイト・パート」募集の求人情報を抽出し、平均時給を集計しました。

『TOWNWORK』	「家の近くで働きたい」「学校の近くで働きたい」「大好きなあの街で働きたい」など、勤務地を重視する読者へ向けた無料求人情報誌。ウェブサイト、アプリも。
『TOWNWORK社員』	「地元で社員として働きたい読者」と「地元で社員を採用したい企業」をつなぐ無料求人情報誌。ウェブサイトも。
『fromA navi』	アルバイトやパートなど、仕事探しのサイト。業種、職種、勤務地、給与条件をはじめ、メリット・待遇や働く環境などのこだわり条件からも、仕事を探ることができる。

■ エリア区分

対象媒体に掲載される求人情報記載の所在地に準拠し、以下の通りとしました。本レポートでは、首都圏・東海・関西の三大都市圏を主に取り上げます。

北海道	北海道
東北	宮城県、青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県
北関東	栃木県、群馬県、茨城県
首都圏	東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県
甲信越・北陸	山梨県、長野県、新潟県、石川県、富山県、福井県
東海	愛知県、三重県、岐阜県、静岡県
関西	大阪府、兵庫県、京都府、奈良県、滋賀県、和歌山県
中国・四国	広島県、岡山県、山口県、島根県、鳥取県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

■ 職種区分

対象媒体に掲載される求人情報より、大分類を以下の通りとしました。それぞれに含まれる小分類についてはp.3～8をご覧ください。なお、「その他」については掲載を割愛しています。

販売・サービス系 フード系 製造・物流・清掃系 事務系 営業系 専門職系 その他

■ 集計対象件数

2019年3月 495,555件（全国） ※各月の集計対象件数は過去のリリース資料をご覧ください。

※各数値については四捨五入しているため、増減額および率が表記内の数値を集計した結果と一致しない場合があります。
※2014年10月度より職種小分類および大分類を変更したため、過去データについても再集計しています。